

大使館便り



第273号 令和7(2025)年12月12日
在ポルトガル日本国大使館

1. 在ポルトガル日本国大使館事務所の移転について

当大使館は、Rua Ramalho Ortigão 51, 6º andar(注:ANACOMのビル内)に移転しました。

2. 広報・文化関係

【活動報告】

(1)日本武道祭の開催とミゲル・ゴディーニョ氏への公館長表彰の実施

11月8日・9日の週末、セイシャル市のコロイオス地区で、大使館後援の「日本武道祭」が開催され、太田前大使が剣道型を披露したほか、会場となったコロイオス・スポーツクラブの理事長であるミゲル・ゴディーニョ氏に対する在外公館長表彰が行われました。

ゴディーニョ氏は、剣道家として剣道の普及に尽力されている他、近年では本武道祭をはじめとしたコロイオス・スポーツクラブにおいて数々の日本文化事業を開催し、地元の方々が日本文化に触れる機会を作ってくれました。

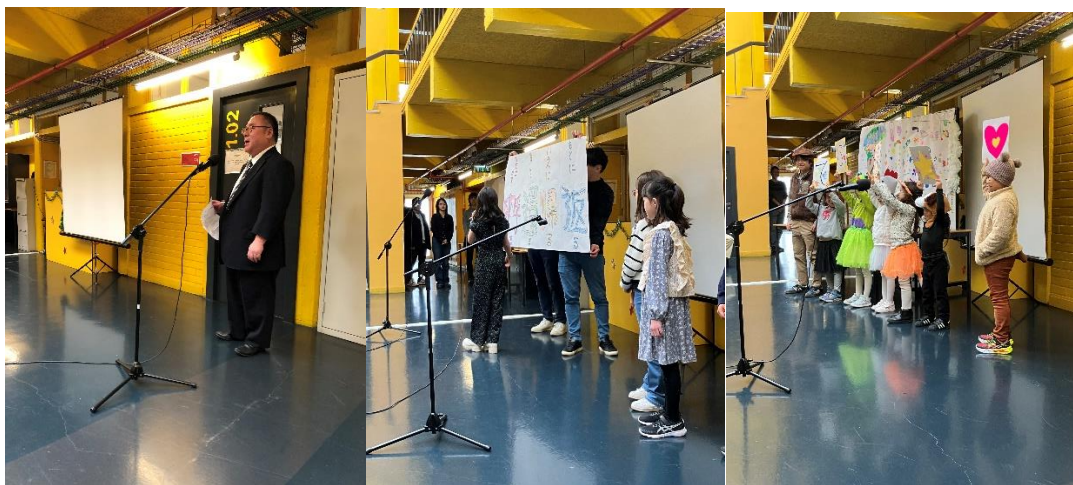
これまでの功績をたたえと共に、同氏のますますのご活躍を期待しています。



(2)リスボン日本語補習授業校・学習発表会への出席

11月29日、龍野次席はリスボン日本語補習授業校の学習発表会に出席しました。幼稚園から中学部までの在校生が、学年毎に一つのテーマについて調べた研究の成果や、劇等で稽古を重ね完成した作品を発表しました。どの学年も大変興味深い発表内容となっており、学習発表会に向けて授業の合間を縫って、また自宅に戻ってからの時間を上手に使い一生

懸命取り組んだ様子が観衆に伝わってきました。色々と準備大変でしたね、有難うございました。



(3)コインブラ大学における書道ワークショップの開催

12月2～3日の3日間にわたり、コインブラ大学の語学センターにおいて設立20周年記念プログラムが開催されました。本事業では、同センターの長年の歩みを祝うとともに、多彩で学際的な活動が行われ、多くの学生や地域の参加者でにぎわいました。

3日には、大使館の協力のもと書道ワークショップが開催され、参加者は書道の歴史や筆運びの基本について学び、実際に筆と墨を使って文字を書く体験を行いました。会場には初めて書道に触れる参加者も多く、皆が集中して作品づくりに取り組む姿が見られ、完成したそれぞれの作品には個性と創意があふれていました。



(4)日本語学習者向けイベント「にほんごデー」の開催

2025年11月22日(土)、ポルト大学文学部にて、ポルトガル日本語教師会(APJP)初の対面日本語学習者向けイベント「にほんごデー」が、イザベル・アゼレド在ポルト名誉領事のご出席も得て、開催されました。

当日は、日本語学習者37名と日本語話者14名が集まり、地域の日本語学習者が日本語

での会話を思いきり楽しむ交流企画が実施されました。

前半は、国際交流基金マドリッド日本文化センターの平川俊助先生による「トントン相撲ワークショップ」。クイズやトントン相撲トーナメントで大いに盛り上がりました。

後半は、日本語話者と学習者が混じり合い、日本語で自由に会話・交流する時間が設けられ、参加者からは「日本語を実際に使って話せる貴重な機会だった」との声も聞かれました。

大勢の参加者が一緒になって笑い、学び、交流した本イベントは、日本語による楽しく有意義なひとときとなりました。



【イベント告知】

(1)オリエンテ美術館における日本映画上映会の実施

2026年1月10日(土)・17日(土)・24日(土)の3日間、リスボン市内のオリエンテ美術館において日本大使館・国際交流基金との共催で、日本映画の上映会「O CAMINHO JAPONÊS 日本の道」が開催される予定です。上映概要は以下のとおりです。

【上映日時】

1月10日(土)

15時「湯道」(鈴木雅之監督、2022年)

17時半「すばらしき世界」(西川美和監督、2020年)

1月17日(土)

15時「バカ塗りの娘」(鶴岡慧子監督、2023年)

17時半「湯道」

1月24日(土)

15時「バカ塗りの娘」

17時半「すばらしき世界」

【場所】オリエンテ美術館講堂(Avenida Brasília, Doca de Alcântara (Norte) 1350-

352 Lisboa)

【入場料】無料/チケットは当日受け取り

【詳細】



<https://www.foriente.pt/detalhe.php?id=861680C1-22D5-4252-9BAD-5BA5EE81B26C&area=espectaculos>

(2)漢字検定・算数検定実施のお知らせ

以下の日程で、日本漢字能力検定協会主催の「日本語漢字能力検定」及び日本数学検定協会主催の「算数検定」が実施される予定です。会場はリスボン日本語補習授業校ですが、補習校生徒のみならず外部からの受験が可能ですので、受験をご希望される方はふるってご参加下さい。

検定実施会場:リスボン日本語補習授業校(Escola Secundária D. Pedro V)

住所:Estrada das Laranjeiras 122, 1600-136 Lisboa, Portugal

(御参考)リスボン日本語補習授業校ウェブサイト:

<https://lisbon-jschool.wixsite.com/lisbon-jschool>

○漢字検定(2級～10級のみ実施)

検定日:2026年1月31日(土)13:30～14:30(予定)

応募受付の締め切り日:11月30日(日)

応募連絡先: リスボン補習校行事係(lisbon.japanese.school.ev@gmail.com)

検定 URL: <https://www.kanken.or.jp/kanken/>

※お申込みの際には、氏名(姓・名)、カタカナフリガナ(姓・名)、受験級、生年月日(西暦)が必要です。

※お申込み後、検定料プラス手数料を合わせた金額をユーロに換算し、日本語補習授業校運営委員会から請求の御連絡をいたします。

○算数検定(準1～11級、かず・かたち検定のみ実施)

検定日:2026年2月14 日(土)13:30～(予定)

応募受付の締め切り日:12月26日(金)

応募連絡先:リスボン補習校(lisbon.japanese.school@gmail.com)

検定 URL: <https://www.su-gaku.net/suken/>

※お申込みの際には、氏名(姓・名)、ふりがな(姓・名)、受験級、生年月日(西暦)が必要です。

※お申し込み後、検定料プラス手数料を合わせた金額をユーロに換算し、金額のご連絡を申し上げますので、検定日に、検定実施教室にご入室の際、現金にてお支払いください。

【その他のお知らせ】

(1)アントニオ・レベロ・デ・ソウザ元開発銀行総裁の旭日中綬章受章

令和7年11月3日付秋の叙勲で、アントニオ・レベロ・デ・ソウザ元開発銀行総裁が、日本・ポルトガル間の学術交流及び相互理解の促進に寄与した功績により旭日中綬章を受章しました。

(2)海外安全対策情報

海外安全対策情報(ポルトガル・2025年7月～9月)を更新しました。詳しくは、大使館のウェブサイトまたは以下のリンクよりご確認ください。

https://www.pt.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000042.html

(3)佐藤シェフによる料理動画「À Moda do Chefe Sato」配信中

現在、在ポルトガル日本大使館の Youtube チャンネルで佐藤・公郎料理人による日本食を中心とした料理紹介動画を配信しています。是非ご視聴ください。



<https://youtube.com/playlist?list=PLz08yNYIf6UrHBznaDvjOs3UaQb4890F8&si=eRcqCvWW71cI8l0D>

(4)リスボン日本語補習授業校 講師・ボランティア 随時募集

リスボン日本語補習授業校にて講師・ボランティアを募集しています。詳細については下記までお問い合わせください。

リスボン日本語補習授業校は、ポルトガル国在留の在留邦人子女に対し日本の義務教育課程に準拠した補習教育を行っています。現在、講師・ボランティアを募集しております。

○講師:

対象:幼稚園～中学3年生

業務内容:日本語の授業、教材作成、行事への参加など

応募資格:日本語教育の経験、またはそれに準ずる知識・能力をお持ちの方

○ボランティア:

業務内容:授業補助、教師補助など

応募資格:日本語能力があり、子どもが好きで、ボランティア活動に興味のある方

勤務日: 毎週土曜、8:45～13:15

勤務地: リスボン日本語補習授業校(詳細は、以下 HP を御覧ください。)

(補習校 HP: <https://lisbon-jschool.wixsite.com/lisbon-jschool>)

その他: 詳細は面接時に説明いたします。

応募方法: 履歴書と希望動機を lisbon.japanese.school@gmail.com までお送りください。

(5) 今後、当館主(共)催による日本関連イベント開催に当たり、大使館便りに加えてEメールによる招待状やイベント情報の送付を希望される方は、cultural@lb.mofa.go.jp まで御連絡ください。

3. 領事関係

(1) 戸籍法及び戸籍法施行規則の一部改正に伴う戸籍事務の取扱いについて

2025年5月26日から改正戸籍法が施行されたことに伴い、従前、氏名の振り仮名(フリガナ)は戸籍上公証されていませんでしたが、この改正法の施行により、戸籍の記載事項に、新たに氏名のフリガナが追加されることになりました。

詳細は[法務省のHP](#)を御覧ください。(なお、右HP内の専用コールセンターの電話番号は、ナビダイヤルのため、海外からは利用できないことになっておりますので御留意ください。)併せて、海外居住者向け[Q&A](#)も御確認ください。

(2) 旅券の集中作成「2025年旅券」に関するお知らせ

ア 2025年3月24日から、旅券の偽変造対策を強化するため、人定事項ページにプラスチック基材を用いた「2025年旅券」の発給が開始しました。

イ それに伴い、旅券は日本国内で作成され、当館まで配送されることとなるため、4週間程度の日数を要することとなります。なお、日本国内での申請の場合は、2週間程度の日数を要します。

ウ 交付日については、申請時に予定時期(目途)をお伝えし、具体的な交付日は交付準備が整った段階であらためて御連絡いたします(窓口での書面申請の場合は電話連絡、ORR ネットでのオンライン申請の場合は登録されたメールアドレスにメールを送信します。)

※ 仮受付(郵送申請)サービスの終了

これまで、当館から遠方にお住まいの方については、領事出張サービス実施日や、あらかじめお約束いただいた日に旅券をお受け取りいただく前提で、旅券発給申請書を事前郵送いただき、予約いただいた日に旅券を交付するサービスを行ってきました。しかしながら、旅券の集中作成開始に伴い、こうした対応が困難となるため、2025年3月24日以降、郵送による事前申請に基づき領事出張サービス実施日や来館日に旅券を交付するサービスは終了しました。

このため、遠隔地にお住まいの方や来館時に交付を希望される方は、オンライン申請の利用を是非とも御検討ください。オンラインにて申請頂ければ、来館いただくのは交付の際のみと

なります。電子申請の利用方法は、[当館HP](#)から御確認いただけます。

エ 在留邦人の皆様に余裕を持ってパスポートの更新を行っていただけるよう、在留届を提出された方に対し、パスポートの有効期間の満了日が近付いてきた際にご案内メールをお送りするサービスを新たに開始しました。在留届にパスポートの有効期間満了日が登録されていない場合には、上記のご案内メールをお送りすることができません。ご家族の分を含め、在留届にパスポートの有効期間満了日をご登録ください。また、この機会に、在留届に登録されているパスポート番号、住所、電話番号、本籍等についても、最新の情報が登録されているかご確認いただきますようお願いいたします。

オンライン在留届：<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>

詳細は[当館HP](#)を御覧ください。

(3)在外公館で旅券及び証明を申請する際の戸籍謄本(抄)の提出について

令和7年3月24日(月)以降より、外務省と法務省間で戸籍情報のシステム連携が開始されました。これにより、旅券の申請及び戸籍謄本の提出を必要とする証明の申請(例：パスポートの新規申請や婚姻証明など)において、申請者が「戸籍電子証明書提供用識別符号」(以下「符号」)を在外公館窓口に提示することにより、在外公館側で戸籍電子証明書(電子的に戸籍情報を証明したもの)を確認することが可能となるため、紙の戸籍謄本(抄)の提出が不要になります。

※「符号」は、行政機関が戸籍電子証明書の内容を確認するためのパスワード(16桁の数字、有効期間3か月)です。マイナポータル上(無料)又は市町村窓口(有料)で取得できます。「符号」の取得に関する詳細は市町村のHP等でご確認ください。

※マイナポータル上での「符号」の取得方法は、[こちら](#)を確認ください。

「オンライン在留届(ORRネット)」から旅券及び証明のオンライン申請をする場合は、あらかじめ取得した符号を申請画面で入力することにより、戸籍電子証明書をオンラインで提出できます。また、窓口申請においても、「符号」の提示が可能です。

(参考)

●[旅券のオンライン申請](#)

●[証明のオンライン申請](#)

(4)海外に住んでいても国政選挙への投票は可能です。

ア 遠隔地にお住まいの方等一定の条件を満たす方には、在外選挙人登録申請の際、本人出頭を免除する[特例措置\(ビデオ通話による申請\)](#)も採用しています。御希望の方は事前に当館まで御相談ください。

イ 在外選挙人証交付の迅速化の取組について

2024年7月19日から、公職選挙法施行令の一部改正による、在外選挙人証の交付に要する期間を大幅に短縮するための取組が始まっています。

従来、在外選挙人証は、市区町村選挙管理委員会が発行し、外務本省を經由して在外公館に送付していました。これが、7月19日以降は、市区町村選挙管理委員会から在外公館にメールでデータを送付し、在外公館で書面に出力し、申請者に交付する方式に変更されています。

この取組により、在外投票の際に必要な在外選挙人証の申請から交付までの時間が大幅に短縮されることとなり、在留邦人の皆様の利便性の向上につながっています。

詳細は[外務省ホームページ該当ページ](#)を御覧ください。

(5)マイナンバーカード申請・交付業務の開始

2024年5月27日から、国外転出後もマイナンバーカードを継続して利用できることになりました。また、現在マイナンバーカードを持っていない国外在住者(2015年10月5日以降に国外転出をしている方に限る。)も国外転出向けマイナンバーカードを領事窓口で申請することが可能になりました。各種申請・手続きについては、当館[HP](#)(領事情報から「マイナンバーカード」のリンク)を御参照ください。

(6)新事務所での領事窓口の御案内(2024年3月に大使館は移転しました。)

2024年3月に、在ポルトガル日本大使館は新事務所(Rua Ramalho Ortigão 51、AN ACOMビルの6階。)へ移転しました。領事班の連絡先及び窓口時間に変更はございません。大使館の住所の地図等、詳細は[当館HP該当ページ](#)を御覧ください。

(7)一部証明書のオンライン申請及びクレジットカード等によるオンライン決済の開始

各種証明(一部を除く)のオンライン申請及びこれらの手数料のクレジットカード(デビットカード含む、以下同様。)によるオンライン決済が可能となっています。これまでは、平日の昼間に窓口に来館されて申請を行っていただく必要がございましたが、これからは、夜間、休日問わずオンラインで申請いただけますので、是非ご利用ください。詳細は、当館[HP](#)該当ページを御覧ください。

(8)感染症広域情報(ジカウイルス感染症及びチクングニア熱)

ジカウイルス感染症及びチクングニア熱は主に中南米、アフリカ、アジア地域などで発生しており、何れも蚊を介して感染します。年末年始にこれらウィルスの発生地域に渡航される予定の方はご注意ください。感染経路や発生地域等の詳細については、厚生労働省のHPを御覧ください。

ジカウイルス感染症:

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

チクングニア熱:

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000168030.html>

(9)日本入国に際する畜産物や植物の持ち込みについて

詳細は以下のリンク(農林水産省)を御確認ください。

(動物検疫)<http://www.maff.go.jp/aqs/tetuzuki/product/aq2.html>

(植物防疫)<https://www.maff.go.jp/pps/j/trip/keikouhin.html>

○植物防疫所ウェブサイト

「[植物や土が同封されている外国製品の購入に関する注意点](#)」

「[よくあるご質問\(海外からの持ち込み編\)](#)」

「植物にも検疫が必要です([旅行者\(携行品\)](#))」

「[海外から野菜や果物を持ち込む際の規制](#)」

○動物検疫に係るウェブサイト

動画「海外からの家畜伝染病を防げ！」

(15秒版)<https://youtu.be/o5NWjzQpFpA>

(30秒版)https://www.maff.go.jp/j/syouan/yobou_movie.html ※各言語字幕版

幕版

「[輸入動物検疫等に係るよくあるお問い合わせ](#)」

「[家畜の伝染性疾病の侵入を防止するために～海外へ旅行される方へのお願い～](#)」

「[肉製品などのおみやげについて\(持ち込み\)](#)」

○農林水産省消費・安全局は、本邦に犬等を輸入しようとする場合の狂犬病抗体検査施設について一部変更を行いました。詳細(指定検査施設等含む)は、[農林水産省動物検疫所のウェブサイト](#)を御覧ください。

(10)「在留届」に関するお願い

「在留届」は、旅券法において、日本国外に住所または居所を定めて3か月以上滞在される日本国籍者を対象にその提出が義務付けられています。届け出は[オンライン在留届\(ORRネット\)のサイト](#)からお願いします。

また、ポルトガルからの転出及び帰国の際には、「帰国・転出届」の御提出も上記リンクから手続きくださいますよう、お願いします。

(11)第三国に出国の際の「たびレジ」登録のお願い

渡航先の最新の安全情報が確認できます。御登録は[こちら](#)から。

(12)日本における消費税免税制度

2023年4月1日から、以下の要件を満たす方は免税購入対象者となります。在留証明の申請についてはこちらを御確認ください。→(<https://www.pt.emb->

japan.go.jp/itpr_ja/00_000098.html)(観光庁HPからの一部抜粋)

ア 外国籍を有する非居住者

・「短期滞在」、「外交」、「公用」の在留資格を有する者

・出入国管理及び難民認定法第十四条から第十八条までに規定する上陸の許可を受けて在留する者

イ 日本国籍を有する非居住者

・国内以外の地域に引き続き二年以上住所又は居所を有することを在留証明又は戸籍の附票の写しにより確認がされた者※

※在留証明、戸籍の附票の写しは、免税購入対象者が最後に入国した日から起算して6か月前の日以後に作成されたものにて確認する必要があります。

(13)御来館時のお願い

領事窓口は予約制を採用しています。領事手数料は、窓口では現金のみの取り扱いとなっています。御来館に際し、お釣りのないよう御準備ください。

4. その他のニュース

FUJIFILM ハウス・オブ・フォトグラフィの開所

11月7日、ポルト市にて、FUJIFILM が運営する「ハウス・オブ・フォトグラフィ(House of Photography)」が開店しました。約50万ユーロを投じて開設された同施設は、2020年のロンドンでの初出店及び本年11月5日にバルセロナに開設した店舗に続き、欧州で3番目、世界7番目の拠点となります。コンセプトは、映像の世界と創造性に焦点を当てた空間を提供することであり、プロ・アマを問わず写真愛好家が、FUJIFILM ブランドの各種カメラやプリンター、スタジオなどを利用できます。

ポルトが選ばれた理由について、ペドロ・メスキータ／FUJIFILM ポルトガル・スペイン支店ゼネラルマネージャーは、「芸術、文化、アイデンティティを呼吸する活気あるダイナミズムを持つ街であること」が決め手だったと述べました。さらに、FUJIFILM グループの支社がポルトに所在しているため、スタッフが近隣にいたことが店舗の成功に寄与すると判断したと述べました。